



事業名	決算調製事務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	当該年度の歳入歳出予算執行状況の結果を明確にすることにより、当該年度以降における予算執行の指針とすることができました。
-------	---

令和2年度の実施内容	歳入歳出決算書・事項別明細書等を作成し、市長に提出しました。
------------	--------------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	歳入歳出決算書・事項別明細書等の作成	決算歳入歳出決算書・事項別明細書等の提出		

A. 必要性	●高 ○中 ○低
	法令の定めるところに従い、当該年度における歳入歳出執行予算執行の結果を明確にするために必要不可欠です。
B. 効率性	●高 ○中 ○低
	システムの活用により、決算書等の調製にかかる人件費以外の経費は印刷製本費のみに抑えています。
C. 運営方法	●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行
	法令により決算書等の調製は市が実施すべき事務事業です。
D. 成果	●妥当 ○要改善
	法令により決算書等の調製は市が実施すべき事務事業です。
総合評価 今後の取組み	●高 ○中 ○低
	当該年度における歳入歳出執行予算執行の結果を明確にすることにより、市民等の信頼に応えています。
備考	○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止
	今後も法令に定められた決算書等の調製業務を適正かつ効率的に行っていくよう取り組みを進めます。

事業名	出納事務	実施計画掲載区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	法令等を遵守し、適正な歳入歳出事務を遂行することで、公金管理の透明性を高め、市民の信頼を得ることを目的としています。		
	対象	その他 市民、事業者、国またはその他の自治体。		
	内容	市税、国及び府からの補助金、諸収入などの収入事務、また、支出命令書による正当債権者への支払事務を行います。 指定金融機関等との連絡調整事務を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	年度（      年度）～      年度（      年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（      ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第170条
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

(単位：千円)

		当該年度予算額	H28	H29	H30	R01	R02
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 (内は人件費、公債費を含む)		49,110 (75,030)	20,606 (48,606)	20,557 (48,907)	19,829 (46,069)	35,562 (61,802)	44,314 (70,234)
細事業費内訳	需用費	0	24	0	0	0	0
	委託料	42,340	16,606	15,921	15,089	30,950	37,785
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	1,991	0	0	0	0
	その他	6,770	1,984	4,636	4,740	4,612	6,530
	人件費	25,920	28,000	28,350	26,240	26,240	25,920
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	16
一般財源 (内は人件費、公債費を含む)		49,110 (75,030)	20,606 (48,606)	20,557 (48,907)	19,829 (46,069)	35,562 (61,802)	44,298 (70,218)
補助金制度等	所轄官庁等						
	制度の名称等						
	補助率・補助額等						

事業名	出納事務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02
指標	支払件数	600,000	640,689	540,895	565,422	595,447	856,855
	横ばい						
	出典: 担当課調査	件					
	支出命令書	83,000	83,788	76,546	77,585	76,211	75,430
	横ばい						
	出典: 担当課調査	枚					
金融機関検査	6	6	7	6	7	6	
横ばい							単位
出典: 担当課調査	回						

事業の効果	法令等を遵守し、適正な歳入歳出事務を遂行することで、公金管理の透明性を高め、市民の信頼を得ることができています。
-------	--

令和2年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市税や国・府からの補助金などを収入する歳入事務、また、支出命令書により正当債権者へ支払う歳出事務を行いました。</li> <li>・指定金融機関との連絡調整事務を行いました。</li> </ul>
------------	--

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出納整理期間に伴う新旧両年度の出納処理</li> <li>・小口資金の新年度貸出</li> <li>・出納閉鎖による前年度繰越処理及び繰越調定の確定</li> <li>・指定金融機関交代調整</li> <li>・納付書及び領収書の発注とりまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定金融機関交代調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末収入事務の調整</li> <li>・債権者登録の受付処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関検査</li> <li>・債権者登録セットアップ</li> <li>・出納整理期間に向けた準備</li> <li>・小口資金の年度末返却</li> <li>・領収印の改廃とりまとめ</li> <li>・機構改革等に伴う出納員等の財務規則の改定準備</li> <li>・異動に伴う資金前渡職員の更新</li> </ul>

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>市民等の貴重な財産であり、市の全ての事業経費でもある公金等を収納・支出するために必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>予算執行支援/金銭会計支援システムの活用により、効率的に事務が遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>実施主体</p> <p>●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>公金の収納・支出は市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>実施方法</p> <p>●妥当 ○要改善</p> <p>公金の収納・支出は市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>公金等の適正な収納・支出により、市民等の信頼に応えています。</p>
総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>公金収納に際しての口座振替データ送受信方法について事業者が提供するシステムを活用することにより収納事務の効率化を目指します。</p>
備考	

事業名	支出命令審査業務	実施計画掲載区	非掲載分	非掲載
施設コード				
所管部局・課	460100 会計課・会計課			
関連部局・課				

事業の概要	目的	支出命令書等の審査を行うことにより公正性が担保され、予算執行に対する市民からの信頼を得ることを目的としています。			
	対象	内部			
	内容	支出命令書等について、当該支出負担行為が法令又は予算に違反していないこと及び当該支出にかかる債務が確定していることを審査します。			
	分類	自治事務	非投資的	種別	総務事務
	事業期間	恒常的	年度（      年度 ） ～      年度（      年度 ）		
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（      ）			
	関連団体				

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	地方自治法第170条
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

(単位：千円)

		当該年度予算額	H28	H29	H30	R01	R02
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額	( )内は人件費、公債費を含む	10 (26,206)	12 (29,928)	16 (30,362)	9 (26,265)	10 (26,486)	10 (26,206)
細事業費内訳	需用費	10	12	16	9	10	10
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	人件費	26,196	29,916	30,346	26,256	26,476	26,196
公債費	0	0	0	0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10 (26,206)	12 (29,928)	16 (30,362)	9 (26,265)	10 (26,486)	10 (26,206)
補助金	所轄官庁等						
	制度の名称等						
	補助率・補助額等						

事業名	支出命令審査業務						
所管部局・課	460100 会計課・会計課						

			当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02
指標	支出命令書	単位	83,000	83,788	76,546	77,585	76,211	75,430
	横ばい	枚						
	出典: 担当課調査	枚						
	出典:	単位						
	出典:	単位						
	出典:	単位						

事業の効果	法令等に準拠した公金の適正な支出を行いました。
-------	-------------------------

令和2年度の実施内容	支出命令書等について、当該支出負担行為が法令又は予算に違反していないこと及び当該支出に係る債務が確定していることを審査しました。
------------	--

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	支出命令書等の審査	支出命令書等の審査	支出命令書等の審査	支出命令書等の審査

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>法令等に準拠した公金の適正支出のために必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>予算執行支援/金銭会計支援システムの活用により、効率的に事務が遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>審査事務は市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>実施方法 ●妥当 ○要改善</p> <p>審査事務は市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>公金の適正な支出により、市民等の信頼にえています。</p>
総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も適正な公金支出に向けて、効果的な審査事務の遂行を目指します。</p>
備考	

事業名	所得税源泉徴収・納付事務	実施計画掲載区	非掲載分
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	所得税法に基づく給与等の支払者としての責務（源泉徴収義務）を果たすことを目的としています。		
	対象	内部		
	内容	市から支払われる報酬、謝礼金等にかかる所得税の源泉徴収及び納付並びに源泉徴収票の作成を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	年度（年度）～年度（年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	所得税法第183条他
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

(単位：千円)

		当該年度予算額	H28	H29	H30	R01	R02
		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業推進のスケジュール							
事業費総額 (内は人件費、公債費を含む)		13 (2,848)	11 (2,811)	11 (2,846)	15 (2,885)	11 (2,881)	11 (2,846)
細事業費内訳	需用費	12	11	11	15	11	11
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0
	人件費	2,835	2,800	2,835	2,870	2,870	2,835
公債費	0	0	0	0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源 (内は人件費、公債費を含む)	13 (2,848)	11 (2,811)	11 (2,846)	15 (2,885)	11 (2,881)	11 (2,846)
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	所得税源泉徴収・納付事務					
所管部局・課	460100 会計課・会計課					

		当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	所得税法に定められた源泉徴収義務者としての責務を果たしています。
-------	----------------------------------

令和2年度の実施内容	市から支払われる報酬、謝礼金等に係る所得税の源泉徴収及び納付並びに源泉徴収票の作成を行いました。
------------	--

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	源泉所得税の徴収・納付	源泉所得税の徴収・納付	源泉所得税の徴収・納付	源泉所得税の徴収・納付 源泉徴収票の作成

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>所得税法で定められた源泉徴収義務者としての事務であり、必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>源泉徴収サブシステムの活用により、効率的に事務が遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>所得税法で定められているため、市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>実施方法 ●妥当 ○要改善</p> <p>所得税法で定められているため、市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>所得税法で定められた源泉徴収義務者としての事務を遂行しています。</p>
総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も適正かつ効率的な源泉徴収事務を行っていくよう取り組みを進めます。</p>
備考	

事業名	備品管理業務	実施計画掲載区	非掲載分
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	備品を適正に管理することにより、公有財産（備品）の管理に関する市民からの信頼を得ることを目的としています。		
	対象	内部		
	内容	備品台帳を整備します。不用物品の売却については費用対効果を考慮し適法かつ適切な手法で実施します。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	年度（      年度）～      年度（      年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（      ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	地方自治法第170条
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H28	H29	H30	R01	R02
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		286 (4,336)	181 (4,181)	762 (4,812)	46 (4,146)	21 (4,121)	209 (4,259)
細事業費内訳	需用費	15	14	0	22	15	7
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	271	166	762	24	7	202
	人件費	4,050	4,000	4,050	4,100	4,100	4,050
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	286 (4,336)	181 (4,181)	762 (4,812)	46 (4,146)	21 (4,121)	209 (4,259)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	備品管理業務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	公有財産（備品）を適正に管理しました。
-------	---------------------

令和2年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品台帳を整備しました。</li> <li>・不用備品を売却しました。</li> <li>・新地方公会計制度に対応した資産台帳について、備品に関する情報を備品台帳より作成しました。</li> </ul>
------------	---

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品の登録及び抹消</li> <li>・不用備品の売却(不定期)</li> <li>・資産台帳作成のためのデータ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品の登録及び抹消</li> <li>・不用備品の売却(不定期)</li> <li>・資産台帳作成のためのデータ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品の登録及び抹消</li> <li>・不用備品の売却(不定期)</li> <li>・資産台帳作成のためのデータ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品の登録及び抹消</li> <li>・不用備品の売却(不定期)</li> <li>・資産台帳作成のためのデータ整備</li> </ul>

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>物品の出納保管事務は法令で定められているため、必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>備品管理支援システムの活用により、効率的に事務が遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>物品の出納保管は市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>●妥当 ○要改善</p> <p>物品の出納保管は市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>市民等の貴重な財産でもある備品等を適正に保管することにより、市民等の信頼に応えています。</p>
総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も適正かつ効率的な備品管理を行っていくよう取り組みを進めます。</p>
備考	

事業名	備品管理支援システムの運用	実施計画掲載区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	備品管理事務の適正かつ効率的な遂行を目的としています。		
	対象	内部		
	内容	統合型データベースと完全連動した備品管理支援システムの運用管理を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	平成24年度（2012年度）～ 年度（年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第170条
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

(単位：千円)

		当該年度予算額	H28	H29	H30	R01	R02
		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業推進のスケジュール							
事業費総額 (内は人件費、公債費を含む)		544 (706)	1,093 (1,253)	3,128 (3,290)	536 (700)	540 (704)	543 (705)
細事業費内訳	需用費	0	0	0	0	0	0
	委託料	345	858	2,930	338	342	345
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	199	235	197	197	198	199
	人件費	162	160	162	164	164	162
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 (内は人件費、公債費を含む)	544 (706)	1,093 (1,253)	3,128 (3,290)	536 (700)	540 (704)	543 (705)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	備品管理支援システムの運用						
所管部局・課	460100 会計課・会計課						

			当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02
指標		単位						
	出典:							
		単位						
	出典:							
		単位						
	出典:							

事業の効果	備品管理支援システムを活用することにより、備品管理事務が適正かつ効率的に遂行できました。
-------	--

令和2年度の実施内容	備品管理支援システムの運用管理を行いました。
------------	------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	・備品管理支援システムの運用	・備品管理支援システムの運用	・備品管理支援システムの運用	・備品管理支援システムの運用

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>備品を適正かつ効率的に管理するために備品管理支援システムを活用しており、その運用管理に関する事務は必要不可欠です。</p>
--------	--

B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムを活用することにより、備品管理事務が効率的に遂行されています。</p>
--------	--

C. 運営方法	実施主体	<p>●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>
	実施方法	<p>●妥当 ○要改善</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>

D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムの活用により、市民等の貴重な財産でもある備品等が適正に管理されています。</p>
-------	---

総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も備品管理支援システムの効率的な運用管理を行っていきます。</p>
------------	--

備考	
----	--

事業名	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用	実施計画掲載区分	非掲載 継続
施設コード			
所管部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課			

事業の概要	目的	財務会計事務の適正かつ効率的な遂行を目的としています。		
	対象	内部		
	内容	統合型データベースと完全連動した予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理を行います。		
	分類	自治事務	非投資的	種別 総務事務
	事業期間	恒常的	平成24年度（2012年度）～ 年度（年度）	
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	関連団体			

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	地方自治法第170条
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H28	H29	H30	R01	R02
事業推進のスケジュール		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		3,847 (4,009)	3,532 (3,692)	1,217 (1,379)	1,757 (1,921)	1,274 (1,438)	1,181 (1,343)
細事業費内訳	需用費	0	0	0	0	0	0
	委託料	3,515	2,964	888	1,428	943	850
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	332	569	329	329	330	331
	人件費	162	160	162	164	164	162
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	3,847 (4,009)	3,532 (3,692)	1,217 (1,379)	1,757 (1,921)	1,274 (1,438)	1,181 (1,343)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用					
所管部局・課	460100 会計課・会計課					

		当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02
指標	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						
	単位						
	出典:						

事業の効果	予算執行支援／金銭会計支援システムを活用することにより、財務会計事務が適正かつ効率的に遂行できました。
-------	---

令和2年度の実施内容	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理を行いました。
------------	-------------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
		・予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理	・予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理	・予算執行支援／金銭会計支援システムの運用管理

A. 必要性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>適正な財務会計事務遂行のために予算執行支援／金銭会計支援システムを活用しており、その運用管理に関する事務は必要不可欠です。</p>
B. 効率性	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムを活用することにより、財務会計事務が効率的に遂行されています。</p>
C. 運営方法	<p>実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>
	<p>実施方法 ●妥当 ○要改善</p> <p>当該システムの運用は、市が実施すべき事務事業です。</p>
D. 成果	<p>●高 ○中 ○低</p> <p>当該システムの活用により、市民等の貴重な財産であり、また市の全ての事業経費でもある公金を適正に出納保管しています。</p>
総合評価今後の取組み	<p>○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止</p> <p>今後も予算執行支援／金銭会計支援システムの効率的な運用管理を行っていきます。</p>
備考	

事業名	資金管理業務	実施計画掲載区	非掲載分	非掲載
施設コード				
所管部局・課	460100 会計課・会計課			
関連部局・課	260100 財政課			

事業の概要	目的	市の公金の適正な管理（保管及び運用）を確保します。			
	対象	内部			
	内容	毎月下旬に翌月収支を作成することで、資金収支見通しを立て支払準備金を確保します。資金収支見通しに基づき、歳計現金や基金等について安全性を確保しながら効率的な運用を行います。			
	分類	自治事務	非投資的	種別	その他
	事業期間	恒常的	年度（      年度）～      年度（      年度）		
	事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 府 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他（      ）			
	関連団体				

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第235条の4及び第241条
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市公金の管理に関する基本方針、豊中市公金管理基準、豊中市債券運用細則
協働のパートナー	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 法人外NPO <input type="checkbox"/> 地縁系 <input type="checkbox"/> 企業・大学 <input type="checkbox"/> 社団財団系 <input type="checkbox"/> 複合体 <input type="checkbox"/> 個人のボランティア	
民間事業者	取組の有無： なし	

（単位：千円）

		当該年度予算額	H28	H29	H30	R01	R02
		実施	実施	実施	実施	実施	実施
事業推進のスケジュール							
事業費総額 （内は人件費、公債費を含む）		10 (10,540)	7 (4,007)	7 (4,057)	10 (7,390)	9 (10,669)	10 (10,540)
細事業費内訳	需用費	10	7	7	10	9	10
	委託料	0	0	0	0	0	0
	補助金等	0	0	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0	0	0
	賃金	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	人件費	10,530	4,000	4,050	7,380	10,660	10,530
財源内訳	公債費	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源 （内は人件費、公債費を含む）	10 (10,540)	7 (4,007)	7 (4,057)	10 (7,390)	9 (10,669)	10 (10,540)	
補助金 制度等	所轄官庁等 制度の名称等 補助率・補助額等						

事業名	資金管理業務
所管部局・課	460100 会計課・会計課

		当該年度目標値	H28	H29	H30	R01	R02	
指標	市預金利子	単位	2,000,000	4,556,540	2,885,405	3,269,316	2,560,705	1,784,738
	出典: 歳入歳出決算書	円						
	基金一時繰替日数	単位	90	242	290	82	49	49
	出典: 担当課調査	日						
		単位						
	出典:							

事業の効果	資金不足を起こすことなく支払準備金の確保ができました。また保管現金の安全かつ有利な運用を図ることができました。
-------	---

令和2年度の実施内容	支払準備金の確保と保管現金の安全かつ有利な運用を行いました。
------------	--------------------------------

実施状況	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月下旬に翌月収支の作成</li> <li>出納整理期間中の基金の取崩及び新規積立に係る運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月下旬に翌月収支の作成</li> <li>市税収入の増加時期に伴い歳計現金運用を順次実施</li> <li>基金の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月下旬に翌月収支の作成</li> <li>市税収入の減少時期に伴い歳計現金運用の順次取崩し</li> <li>基金の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月下旬に翌月収支の作成</li> <li>年度末満期設定の基金の再運用</li> <li>基金残高の新年度繰越</li> </ul>

A. 必要性	●高 ○中 ○低
	適正な財務会計の遂行のため支払準備金の確保や資金管理は必要不可欠です。
B. 効率性	●高 ○中 ○低
	資金収支見通しを立て効率的に資金を管理しています。
C. 運営方法	実施主体 ●市実施 ○一部委託 ○全部委託 ○部分補助等 ○全部補助等 ○負担金 ○指定管理者代行 資金管理は市が実施すべき事務事業です。
	実施方法 ●妥当 ○要改善 資金管理は市が実施すべき事務事業です。
D. 成果	●高 ○中 ○低
	当事業により市民等の貴重な財産である公金を適正に管理しています。
総合評価今後の取組み	○拡充の方向で検討 ●現状のまま継続 ○縮小の方向で検討 ○完了・廃止の方向で検討 ○完了・廃止 今後も適正かつ効率的な資金管理を行っていくよう取り組みを進めます。
備考	